

※「ビューティカルパー」:出張の理美容です。食堂白板に「申込み書」を貼っています。ご自分でご記名ください。

ケアハウス王喜の郷

何かと節目の令和7年も残すところ、後1か月になりました。毎日「暑い！暑い！」と言っていた長い長い夏もようやく終わりました。気がついたら冬がやって来ました。

梅雨も短く、長くて暑い夏が始まり、秋もあっという間に過ぎてしまいました。

本当に近年、四季が無くなり二季になってしまいました。日本の美しい四季は何処へやら。

12月といえば餅つきやクリスマスと楽しい行事が待っています。待ち遠しいですね。



今年はインフルエンザの流行の時期が早いようです。

体調を崩されないように

そして元気によい年を迎えましょうね◎



介護職員 中村ひふみ

王喜の郷デイサービスセンター

日本に来て1年5カ月になります。最初の頃は日本語が全然分からず、生活にも慣れなくて毎日大変でした。でも、今では利用者さんに優しく色々な事を教えていただいたお陰で、毎日楽しく仕事をさせていただいています。

ところで、秋と言えば柿ですね。自分の国では柿を食べた事がありません。11月に利用者さんに干し柿の作り方を教えていただき、皮剥きをしました。出来上がった干し柿を「甘くて美味しい。」と言っていたきとても嬉しかったです。午後の機能訓練の時、皆さんが一生懸命体を動かす姿を見て、私も励まされています。これからも頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。



介護職員 ナビラ プラディスタ

グループホーム王喜の郷ライム

ライムの庭で入居者の方と一緒に植えたさつま芋を11月に収穫しました。土をかき分けると、つやつやとしたさつま芋が顔を出し、皆の笑顔があふれました。「こんなに大きくなったんだね。」と入居者の方も驚きながら嬉しそうでした。収穫作業はただの作業ではなく、昔の思い出話を聞く時間でもありました。「子供の頃は家族みんなで畑仕事をしたものだ」と自然と会話も弾み、手を土で汚しながらも笑い声が絶えませんでした。「おやつに焼き芋を作ろう」と今から楽しみにしている方もおられました。

こうして一緒に汗をかき、笑顔を共有できる時間は、私達にとってもかけがえのない思い出になります。収穫の喜びと皆で過ごす温かい時間。小さな畑ですが、心は大きく満たされました。これからも入居者の方と一緒に季節の楽しみを感じながら笑顔のあふれる日々を送りたいと思います。



介護職員 ト 祥涛

グループホーム王喜の郷

舞い散る枯れ葉や冷たい風に冬の訪れを感じられる季節となりました。利用者さんからも「今日は冷えるね。」と言う声が聞かれます。

寒い日もありますが、一日に一度は必ず外の空気を吸うように、午前中は外気浴を行っています。日光に当たり運動することで、カルシウムの吸収も高まり、骨が丈夫になります。適度な運動は体を温めたり血行を促進し、免疫力のアップにとっても効果があります。体操は一日2回行っています。

11月27日(木)はミントの家と合同で誕生会を行いました。内容はカラオケ大会です。利用者の方々に大変喜んで頂き涙を流される方もおられました。

来年の1月の誕生会も楽しみにされて下さい。

これからも利用者の方と一緒に笑顔でゆっくり過ごせるように支援していきたいと思っています。

介護職員 宮村秀子

王喜の郷居宅介護支援センター

今年も気づけば残すところあと1ヶ月となり、外を見れば木枯らしが吹き冬を感じさせられる事が多くなりました。朝晩の寒暖差も大きくなりインフルエンザや感染症の流行に関するニュースを聞く事も増えてきました。体調不良を予防する為にも手洗いとうがい、こまめな水分補給と定期的な換気をしていただくと安心です。また、衣類の調整なども体調不良の防止には効果的です。厚手の服を着るのではなく、薄手の服を重ね着することで日中に気温が上がり暖かくなってきた際に衣類の調整が容易となり、脱水症状や発汗による体温の低下の予防に繋がります。日に日に肌寒い日が多くなり体調管理が難しい日々が続きますが、皆様が笑顔で過ごせるよう利用者様一人ひとりに寄り添った支援を続けてまいりますのでよろしくお願いします。

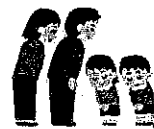
介護支援専門員 太田 岳麦

王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

私の両親は食堂を営みながら私を育ててくれました。親が商売をしている間は夜食などを祖母が用意してくれてました。

祖母は食事の時、私が肘をついたり正座を崩したりすると、ピシッと愛のムチが飛んできたりしました。一方で挨拶をきちんとすると頭をなでて、褒めてくれたりしました。

両親や祖母からは、一日の始まりは挨拶からと教えられて育ちました。挨拶をして返事が返ってくると気持ちよく過ごすことができますが、返ってこない寂しいものです。親からは挨拶のことを厳しく言われて、ありがたかったと思います。これからも、しっかり挨拶していこうと思っています。



サービス提供責任者 山田 朋子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

12月に入り例年通りの肌寒い季節となりました。今年は猛暑が長く続き、秋と呼べる時期があっという間に終わってしまった気がします。

急に寒くなり、外気浴・散歩のお声かけをしても「寒いからやめとこう」のお返事も増えてきましたが、寒くないよう準備し、室外の歩行を行なう、外気に触れる、樹木の変化で季節を感じて頂くなど、声かけを工夫し継続しています。

室内でも自発的にフロア内や通路を歩かれる方、テレビ体操で身体を動かされる方、居室で毎日立ち上がり運動を続けられる方、それぞれの方法で毎日の生活の中に取り入れて行ない、元気に過ごされています。



介護職員 島田 京子

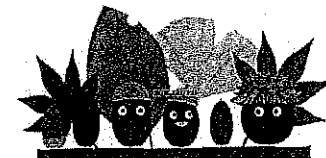
放課後等デイサービス さくら

寒さを感じるようになってきましたが、子ども達の様子は変わらず、来所後は外遊びに行きたいと言っているのをよく耳にします。色々な色の落ち葉を目にしては、拾い集めて支援員に見せる姿が見られるようになってきました。

支援員が渡された落ち葉に穴をあけ、お化けのようになると子ども達の目が生き生きとしていたのを感じました。

今、さくらの壁面は紅葉やどんぐり、キノコ等、秋の物で色鮮やかになっています。これからは、このお化け落ち葉を子ども達に手を加えてもらって、より賑やかな物にしていきたいと思っています。

冬休みを目前に控えています。次は年末に向けて子ども達のどんな成長が見られるか今から楽しみにしています。



さくら支援員

塩谷 一雅